

## 「(仮称)新・港区史」構成

基本構成				執筆担当	監修者 全体監修者 井奥成彦	
編	章	節	執筆内容例示(項)			
自然史 ・原始編  地形・地質・生物・ 気象等の自然の歴史 旧石器時代・ 縄文時代・弥生時代	港区の自然					
	第1章	港区の地形と地質	第1節	港区の地形の概要-東京湾に面した武蔵野台地東端の地形	台地の地形・台地を開析する谷・沖積低地(谷底、東京湾岸)	久保純子 鈴木毅彦
			第2節	港区の地下と地質	北米プレートとフィリピン海プレートの上に位置する港区・関東平野の地下に広がる上総・下総層群・台地をつくる堆積物と関東ローム層・低地に分布する沖積層	
			第3節	地形の変遷	日本列島と関東平野の成立・プレート運動と上総トラフの陸化・氷河性海面変動と地形・地質・縄文海進と沖積低地・歴史時代の地形変化・埋め立てによる海岸線の変化(人工地形)・23区で一番坂の多い区	
	第2章	港区の気候と気象	第1節	世界や日本における港区の気候と気象	はじめに・港区の気候概要-世界の気候の多様性から・気候・気象の季節性	高橋日出男
			第2節	港区における気候・気象の特徴	降水・気温・相対湿度・風・日照時間と日射量・大気汚染	
			第3節	気候の変化・変動	地質時代から歴史時代の気候・観測時代の気候変化	
			第4節	港区における気象資料と気象災害情報	気象観測の歴史と観測資料の概要・気象災害に関する情報・地球温暖化・エルニーニョ/ラニーニャ現象・北極振動・大気大循環・海陸風(と山谷風)・大気現象の時間・空間スケール	
	第3章	港区の生物	第1節	港区の生物	港区の生物の歴史的移り変わり・港区の生物・港区のみどりの分布	河野博
			第2節	港区に生息する生物	港区の植物・港区の陸上動物・港区の水辺の生き物たち・在来種と外来種・四季を彩る生き物たち	
	第4章	自然の歴史と人びと	旧石器時代から現代に至る、自然と人びととの関わり合いの歴史や、現代人・現代社会が抱えている課題について概観する。			久保純子 鈴木毅彦 高橋日出男 河野博
	港区の原始					
	第1章	港区の考古学研究	第1節	近代考古学史の人びとと港区	坪井正五郎と鳥居龍蔵・華族の考古学-元棚倉藩主・阿部正功の事績	高山優 岡崎完樹 渡辺文彦
			第2節	大学と東京都教育庁の調査	大正から昭和戦前期の考古学調査・人類学者の遺跡調査・慶應義塾大学考古学研究室の人びと	
			第3節	行政調査の時代	伊皿子貝塚遺跡の発掘調査-区内最初の本格的な行政調査・近世遺跡調査の始まりと展開・行政調査の展望と課題-おわりに代えて・行政調査を牽引する人びと	
	第2章	港区の旧石器時代	第1節	旧石器時代の自然環境	気候と地形の変化・段丘面の形成・動植物相の変化	渡辺文彦
			第2節	旧石器時代のくらし	旧石器時代前半期のくらし・旧石器時代後半期のくらし・遊動的狩猟採集生活のすがた	
			第3節	港区の旧石器時代遺跡	旧石器時代前半期の遺跡・旧石器時代後半期の遺跡	
			第4節	旧石器時代の港区域	広域火山灰・C14炭素年代測定法	
	第3章	港区の縄文時代	第1節	縄文時代の自然環境	気候と環境の変化・縄文海進	高山優 久保純子 斉藤進 渡辺文彦
			第2節	縄文時代のくらしと文化	早期の人びとの活動・集落の発達・貝塚がつくられた時代・縄文時代の人びとの行方	
			第3節	縄文時代の港区域	旧石器時代と縄文時代の境界・挾状耳飾(縄文人の装身具)・貝と鱗の成長線・土器の変化	
	第4章	港区の弥生時代	第1節	弥生時代の自然環境	気候と地形の変化	高山優
			第2節	弥生時代のくらしと社会	弥生文化到来の頃・むらのくらしと社会・弥生時代の終焉と次代への胎動	
第3節			港区の弥生時代遺跡	港区内で発見された当該時代の遺跡を総覧		
第4節			弥生時代の港区域	プラント・オパール・方形周溝墓・土器の変化		